



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan
Mail : uenoashiya@kdb.biglobe.ne.jp
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_yymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 Ulrik Lauridesen (デンマーク)
“Let Your Light Shine” 「輝かそう、あなたの光を」
アジア太平洋地域会長 利根川恵子 (東日本)
“Be the light for change” 「変革のための光となろう」
西日本区理事 深谷 聡 (名古屋クラブ)
“Let's illuminate the light of hope for future”
「未来に灯そう(ともそう)希望の光り」
六甲部部長 井出 浩 (神戸クラブ)
「YMCA とのさらなる協働を目指して」
芦屋クラブ会長 上野恭男
「楽しいクラブライフを！」

今月の聖句

闇の中を歩む民は、大いなる光を見
死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。
イザヤ書 9 章 1 節

12月第1例会(25周年記念&クリスマス祝会)

と き: 2023年12月22日(水) 18:00~21:00

と ころ: ホテル竹園芦屋

総合司会: 濱 浩一(西宮クラブ)
柏原佳子(芦屋クラブ)
福原吉孝(芦屋クラブ)

開会挨拶&点鐘: 浅野純一会長(西宮クラブ)
上野恭男会長(芦屋クラブ)

芦屋クラブ25周年記念祝会
上野恭男会長挨拶
YMCAへ記念品贈呈

礼拝の部
司会: 島田 恒(ワイズ)
奨励: 権 甲植(ワイズ)

第1部 祝宴の部
司会: 福原吉孝(ワイズ)
エンタイナー: 高島依子(ソプラノ)
小林美智(ピアノ)

閉会挨拶&点鐘: 浅野純一会長(西宮クラブ)
上野恭男会長(芦屋クラブ)

会 長 上野恭男
直前会長 大岩雅典
副 会 長 山口光一・福原吉孝
書 記 柏原佳子
会 計 桑野友子
監 事 島田 恒
担当主事 横山徹太郎
六甲部国際・交流主査 柏原佳子

12

Dec., 2023
318号

DBC・IBC

国際交流主査 柏原佳子

メリークリスマス!

舞台は、2008年世界大会デンマークです。芦屋クラブから上野・桑野・島田・吉岡・柏原の5名で参加しました。懇親会でIBCの約束を交わし、2010度の世界大会in東京に於いて芦屋クラブは、オーストリアのエチューカクラブとIBC締結をいたしました。エチューカクラブを訪問し、メンバーの自宅のBBQPARTYに招かれお土産に「鯉のぼり」をお持ちしました。まだまだ華やかしかしワイズメンズクラブの雰囲気が残っていたように思います。今は、エチューカYMCAも不明でクリスマスカードもことごとく舞い戻ってきました。



DBCは国内の姉妹クラブで鎌倉クラブ・もりおかクラブ・熊本みなみの3クラブと締結しています。鎌倉に故町永夫妻、上野、桑野、羽太、吉岡氏、堀江氏、山田氏、柏原で訪問した思い出は今も鮮やかによみがえってきます。そして極寒の盛岡に表敬訪問したのは芦屋クラブ10周年の前の年、10周年記念式典でDBC締結に結び付きました。

関学会館会場には、歴代の日本区理事が全員ご参加下さいました。壇上で話すとき震えた頃の若い私を思うとき懐かしさで心が震えます。

改めて思うのです。一生懸命になれることの素晴らしさ! 夢中に取り組めることの素晴らしさ! ワイズは、交流の輪を広げることが素晴らしいと! 芦屋クラブの皆さまに、六甲部の皆さまに、そしてDBCクラブの皆さまに メリークリスマス!

11月例会集計

第1例会出席	例会出席率	BF切手
メンバー 14名	出席者 14名	累計 gm
メネット 名	メイクアップ 2名	
コメント	合計 16名	ニコニコ
ビジター 2名	在籍者 17名	12,300円
ゲスト 3名	(内広義会員1名)	累計 75,980円
合計 19名	出席率 100%	

11月第1例会報告

日時： 11月15日(水) 19:00～21:00
場所： ホテル竹園芦屋 (敬称略)
参加者： 上野恭男会長・柏原佳子・桑野友子・権 甲植・
島田 恒・堤 清・中島かおり・羽太英樹・濱瀬眞
知子・坂東幸子・福原吉孝・船橋知子・山口光一
(各ワイズ)&横山徹太郎担当主事
ビジター： 大野 勉・大野智恵ワイズ(神戸ポートクラブ)
ゲスト： 田辺征一氏(元鹿児島大学教授)
大西謙氏・渡部徹也氏

15 日久しぶりの竹園で開催され、ホームグラウンドに帰ってきたかの感のある例会となった。

定例の流れが進んだが、いつもの羽太メンによる聖句朗読とメッセージ、今回はザアカイ物語。ザアカイは上からイエスを眺める、イエスは下から声をかける、低いところに身を置いて声を掛けられるイエスの姿勢が語られ、その方の問いかけにどう答えるかに刺激をもらった。



この日のゲストスピーチは田辺征一さん(元鹿児島大学教授)による「地球温暖化考」であった。温暖化による環境破壊・生活破壊が喫緊の課題

として迫っていること、これはイギリスに始まった産業革命からの顕著な温暖化現象が拡大していることを学んだ。いわば、経済発展を飽くことなく追及する人間の仕業であることに行きつく。報告者が「あまりにも経済」と指摘してきたことの裏付けとも学ばされた。



一連のスピーチをパワポ活用により説明いただいた後、予期のなかったパイプオルガンの話題に移られた。あまり知ることのなかった楽器の仕組みや設置の状況を教えていただいた。報告者も訪問したことのあるカトリック関口教会(丹下健三設計)のパイプオルガンも紹介され親身に聞くことができた。

いくつかの質問も出され丁寧に回答され、二つのテーマをこなされた形でこの日のスピーチによる学びを終了した。

クリスマス行事の案内、YMCA についての報告、ニコニコ献金報告、誕生日お祝い・・・と定例通りの流れで今月もテイクコウ主義をほぼ守って閉会を迎えた。クリスマス行事が迫ってくるなか、多くのゲストの参加をいただき和やかによいクリスマスを迎えたいとの期待が盛り上がった。

島田 恒

神戸三宮ライブハウス スターティングオーバー

一番やりたかったことを今年実現できました。

きっかけは昨年末旧知の友人と待ち合わせしたライブハウスでした。そのオーナーが私に『引退したいが誰かいい人いないか?』との相談を受けました。

長年の願望であったライブハウス経営。考える余地などありません。すぐその場で『私がやりますと』答えました。

それが2022年12月23日です。そこから4か月の間に準備をし、4月1日にプレオープン。そして、店内改装を終え5月1日には本格営業となりました。

それから7か月(11月末現在)経営も何とか軌道に乗っています。元々音楽業界のプロでしたので心配事は何もなく、着々とロコミでお客さんも増えました。

音響の評判はとても良く、そしてお店の立地条件も恵まれていたので、想像以上の反響に驚いています。まだまだお問い合わせは増えるばかりで、嬉しい悲鳴が続いています。毎日忙しく体力的にも大変ですが、好きなことなのでストレスはなく、蓄積したような疲れは感じません。本当にライブハウスやってよかったと思っています。

三宮のど真ん中、打ち合わせやパーティーにもご利用ください。週末はジャズライブ楽しんでいただけます。

ワイズの皆さんには特別なサービスで接客させていただきます。

大岩雅典

みどり通信 II

いつも芦屋みどり福祉会にご支援いただきありがとうございます。11月30日、12月1日の1泊2日で静岡県伊豆箱根方面へ行ってきました。年に一度の旅行です。新幹線で三島へ。三島から観光バスに乗り換えて大涌谷へ。噴煙地の見学や黒たまご館等を楽しみました。とてもいい



天気で富士山がきれいでした。海賊船で芦ノ湖を遊覧し箱根港で関所見学、伊豆長岡温泉のホテルに泊まりました。コロナで

できなかった宴会をめいっぱい楽しみました。カラオケは歌いたい人が次々マイクを持ち、のりでの披露してくれました。2日目はみかん狩りに行きました。甘くて美味しいみかんをたくさん食べました。ここで〇君が迷子になりました。山の中に入って行こうとしていて・・・地元の方にも協力していただいて、やっと見つか一安心でした。内浦湾の遊覧船は餌のお菓子をあげるとかもめがそばまで寄ってきてくれて大歓声でした。伊豆フルーツ館で昼食とお土産の買い物をして、行きと同じルートで帰途につきました。楽しい写真をたくさん撮ってきました。

大澤昌子

25周年記念に想う

上野恭男

芦屋クラブは YMCA のない地域で、ひとり一方的に神戸 YMCA を支える活動をしてきました。設立した時の夢は、京都部の活動を参考にさせて頂きスタートしたのです。

ホテルでの例会は当然で、京都部のようにはいかないものの、ドレスコードを守り、バッジをつけて誇りを持っての例会が守られています。

歴代の会長を以下に列記しますが、会長の持ち味、方針で様々なドラマが生まれ、クラブの活動も変わりました。

古林秀雄、黒田荘一郎、田舎庸男、町永昭五、飯田義雄と5名の方が天の国に旅立たれました。それぞれ、個性のある思い出に残る懐かしい方です。

芦屋クラブは、大阪クラブ、神戸クラブと2つの親クラブから誕生しました。大阪クラブの例会でのアルコール提供、クリスマス会でのオークションは芦屋に根付いています。



20周年記念&クリスマス祝会

クリスマス会でのオークションは名物となり、10万円ほどの収益をYMCAに捧げています。周年記念日には記念の品を贈呈、芦屋クラブは会員が高齢ですので、出来るだけマンパワーは遠慮して、金銭面での協力に特化しています。

25年間を振り返ると、よくぞ芦屋クラブが良き会員に支えられ、今まで元気に活動を続けられてきたものだと感謝します。

居場所がないと困っておられる方は、少々お金は要りますが、ワイズで活動されるといいのではないかと思います。

歴代の会長一覧

1998年1月31日	設立総会
1998年4月11日	チャーターナイト
1998年4月11日～6月30日	上野恭男
1998年7月～1998年6月	古林秀雄
1999年7月～2000年6月	黒田荘一郎
2000年7月～2001年6月	矢野喜雄
2001年7月～2002年6月	田舎庸男
2002年7月～2003年6月	岡本 脩
2003年7月～2004年6月	町永昭五
2004年7月～2005年6月	渡辺藤市郎
2005年7月～2006年6月	大塚進康
2006年7月～2007年6月	大塚進康
2007年7月～2008年6月	柏原佳子
2008年7月～2009年6月	柏原佳子
2009年7月～2010年6月	飯田義雄
2010年7月～2011年6月	桑野友子
2011年7月～2012年6月	都築省三
2012年7月～2013年6月	島田 恒
2013年7月～2014年6月	羽太英樹
2014年7月～2015年6月	福原吉孝
2015年7月～2016年6月	五十嵐政二
2016年7月～2017年6月	上野恭男
2017年7月～2018年6月	柏原佳子
2018年7月～2019年6月	桑野友子
2019年7月～2020年6月	島田 恒
2020年7月～2021年6月	大岩雅典
2021年7月～2022年6月	大岩雅典
2022年7月～2023年6月	大岩雅典
2023年7月～2024年6月	上野恭男

『 7つの小窓 』

◆今年も後少し。この1年間スクラップしておいた身近なニュースを振り返ってみた。①【プロ野球】パ・リーグ連覇のオリックスとやっとセ・リーグ優勝のタイガースが、日本一を賭けての【関西ダービーの大接戦】は実に見事であった。そして甲子園は沸いた。誰もがよく闘った両者に感謝の拍手を贈ったのでは…。



②【ノーサイド】サクラジャパンも世界中に立派なノーサイド(NO・SIDE)の姿を見せてくれた。ベスト8は逃したが姫野キャプテンの《あの明日への咆哮》と《涙するシーン》は永遠にラグビー愛好家の心を捉えたに違いない。【ノーサイド】《ホイッスルと共に試合終了の合図》敵味方どちら側でなく互いに相手をリスペクトする清らかな精神は様々な人生に通じる美しい姿に違いない。

③【気候変動～アサガオが夏に咲かない！】小学生が夏休みの観察日記で困っていた。《熱波と干ばつ》多くのワイナリーのブドウ不作も大打撃。それにしても暑かった。せめて夕立だけでも誰もが願ったのでは…。《花が咲かない、育たない》

自宅の庭花・庭木の水やりは大変！勿論、公園、街路樹も…。④【気候変動～アーバン・ベア】《ヒグマ・月の輪グマの家族》北海道・秋田、青森では一昔前ではこれ等の家族が人里・農村で、あたかも人間と共生している様なホックリする姿も見受けられていた。が近年、天候不順で餌不足。都会型(アーバン)に変化しバス停、コンビニ前で人を襲う事件に発展、。捕獲後に残念ながら止むなく殺処分。その頭数を知りがつくり。何とか共生出来ないか？と……。つい思ってしまう。⑤【気候変動～南極でペンギンのヒナが…。】



2022年、冬なのに海水が溶けて、その繁殖地で暮らしていたコウテイペンギンのヒナが1万羽近く、溺れ死んだ可能性がある」と英国研究チームが明らかに。翌2023年には海水面積がさらに悪化する恐れも…。胸悼む。

⑥【難民の漂流・混迷の世紀・人道主義は何処へ】実に難しい問題の狭間。電気・水・薬も無い《暗闇の病院》で幼児の泣き声が次々と消えて行く。⑦【ビートルズのジョン・レノン】が遥か彼方で唄っているだろう。12月8日は凶弾に倒れた日。彼が作ったあの名曲【イマジジ】を聴きつつ……。日常の平和を祈りたい。

篠坂幸彦

クリスマス祝会 エンタテイナープロフィール



ソプラノ 高島依子

同志社女子大学学芸学部音楽科声楽専攻卒業。石村雅子賞受賞。2000年渡伊。キジアーナ国立音楽院で学んだ後、ロータリー財団奨学生としてミラノ音楽院にと研鑽。以下、クリスマス祝会プログラム参照



ピアノ 小林美智

同志社女子大学学芸学部音楽科ピアノ専攻卒業。石村雅子賞受賞。《頌啓会》心身演奏会など多数コンサートに出演。現在は主に声楽との共演ピアニスト。以下、クリスマス祝会プログラム参照

11月第2例会議事録

とき：11月22日(水)19時～18時20分

ところ：芦屋市民センター 204号室

参加者：上野会長、大岩、桑野、島田、羽太、濱瀬、福原、坂東、柏原(各ワイズ)、横山担当主事

議事・報告

1) プリテン編集会議：19時00分～10分 桑野編集長

2) 第1例会今後の予定

・1月17日(水)スピーカー 美崎晋ワイズ(神戸クラブ)

・2月7日(水)留学生交流会 18時～

・2月7日(水)20時～ 次期役員選考会

会場：芦屋市民センター 音楽室

・2月21日(水)スピーカー虚子記念文学館

稲畑廣太郎館長

・3月20日(水)未定

3) クリスマス祝会打ち合わせ

・賛美歌伴奏者は中島ワイズなどに依頼

・オークションの出品依頼をする

12月20日(水)オークションの値付け等、準備をする

場所：ホテル竹園芦屋2階会議室

・クリスマス会アピール訪問：

神戸クラブを柏原・桑野・濱瀬(各ワイズ)

神戸西クラブは上野会長

神戸ポートクラブは柏原・桑野(各ワイズ)

神戸学園都市は西宮に依頼する。

なお、訪問クラブの例会会費1/3をクラブから補助する

4) 10月会計報告があり、承認。25周年記念献金25万円を12月22日付けでYMCAに振り込む

5) YMCA報告：12月10日(日)大丸前にて年末募金を行う
書記 柏原佳子

★ 賛美歌伴奏は姫路グローバルクラブの三宅 敬ワイズが引き受けて下さいました

YMCA ニュース

第25回神戸YMCAチャリティーラン2023

11月23日(祝・木)に、第25回神戸YMCAインターナショナル・チャリティーラン2023を開催いたしました。昨年の大雨とは違い、11月下旬とは思えない気持ちのいい暖かさのなかで実施できました。当日の参加者数は以下の通りです。

・1/10 マラソン：15名

・1.2kmウォーキング：34組(118名)

・1/100 マラソン：151名 合計：延べ284名

1/10 マラソンではゴール直前での大逆転、たくさんの方々が登場で参加して下さった1.2kmウォーキング。開始直前で約100名の方が申し込んだ1/100マラソンなど、たくさんの方々の笑顔を見ることができ、とてもよかったです。YMCAインターナショナル・チャリティーランは、集まった支援金で「日本中の障がいのある子どもたちがYMCAの夏のキャンプに参加できるように！」との願いから、1987年に東京で始められました。

神戸YMCAチャリティーランの目的は、

①YMCAが主催・共催する障がい児・者プログラムを支援し、「共に生きる」社会をめざします。

②神戸YMCAに関わる多くのボランティアやメンバーが協働し、交流を通して「心のふれあい」を促進します。

③広く市民に参加を呼びかけ、ボランティアによる運営を大切に、「ボランティアの心」を育てます。

準備から当日と、多くの方に関わっていただき、ご協力いただきました。ありがとうございました。

台湾：高雄YMCA

神戸YMCAは、高雄YMCA創立20周年にあたる1983年4月にパートナー締結を行っています。そのきっかけは、会員であり委員であった水谷英三氏が、甲南女子大学の学生を中心に、台湾に日本語集中講座の日本語講師を派遣したことが契機

となったと伝えられています。その高雄YMCA創立20周年でのパートナー締結式には、当時の神戸YMCA理事長らが出席しました。それ以来、

定期的な交流があり、日本語教師派遣やスタッフ派遣、スタッフの研修受け入れなど、様々な交流が続いています。

4月には、高雄YMCA創立60周年記念式典があり、神戸YMCAから井上総主事ほか1名のスタッフが招待されました。



そしてこのたび11月に、蔡政甫総主事ほか3人が来日され、公益財団法人理事会に列席、余島やファミリーウエルネスセンター、三宮会館、西神戸会館、神戸学園都市YMCAこども園、こべっこあそびひろば西神中央等を視察し、今後の交流についても協議がなされました。

担当主事 横山徹太郎

編集後記：師走、何となく心忙しい時期となりました。上野会長の「25周年記念に思う」は芦屋クラブの歴史を再認識させられます。クリスマス祝会の準備も着々と進んでいます。楽しい年の瀬を過ごしましょう。 桑野友子